

山行報告：両白山地 医王山

【山 域】両白山地（白山とその北方の山々）

【行動日】2017年4月24日（月） 晴れ

【参加者】CL吉川、柘植（記）

【ルート】西尾平7:00→白禿山→夕霧峠→奥医王山→夕霧峠→（車道経由）11:00 西尾平



【内 容】

笈ヶ岳が土日の二日間で首尾よく登れたので、予備日の月曜を白山北方稜線最北部の医王山（いおうぜん）で遊ぶことにした。医王山は金沢市民でハイキング愛好家は誰でも必ず登る山だそうで、登山道も四方八方から整備されている。ただ今回はクルマだし、まだ雪の季節なので、車道が除雪されていて奥まで入れそうな西尾平口からとした。とりあえず医王の里まで行ってみるが、まださらに奥まで入れそうなので、西尾平まで行く。十数台は止められる駐車場に一番乗りで停める。道が多過ぎて分かり難いが、まずは緩やかに白禿山を目指す林道っぽいコースに入る。途中からは金沢市街と日本海が眺められ、旅情いっぱいである。



金沢市街と日本海



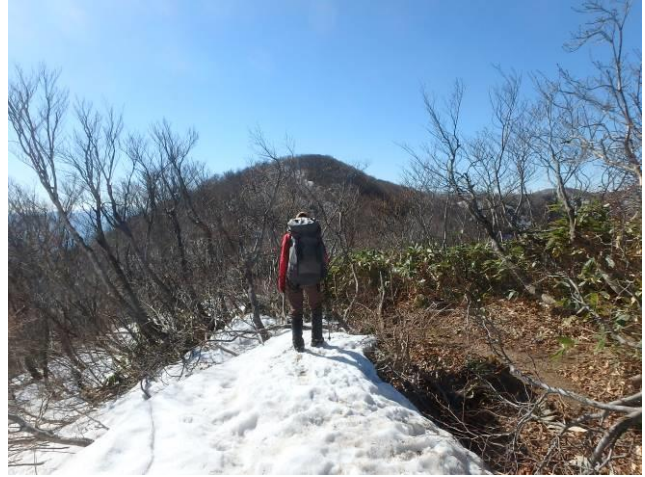
白禿山の展望塔からの風景

医王山という山はなく、白禿山から夕霧峠あたりまでを総称して医王山というらしい。白禿山には展望塔と方向指示盤があり、山岳同定にいそしむ。ここからは残雪が増え、登山道はよく分からないが、

昨日のものと思われる踏み跡をたどって夕霧峠を目指す。途中無名峰があり、地図では巻いて進むようになっていたが、踏み跡を追っていったら山頂についてしまった。山頂には蛇尾山という標識があった。



展望塔から奥医王山と白山連峰



夕霧峠を目指す



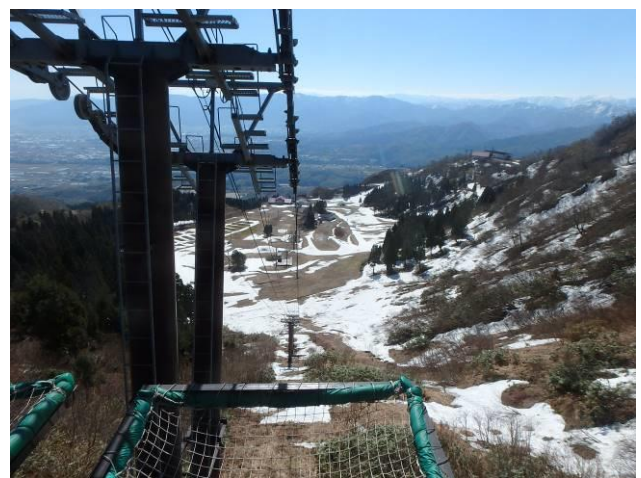
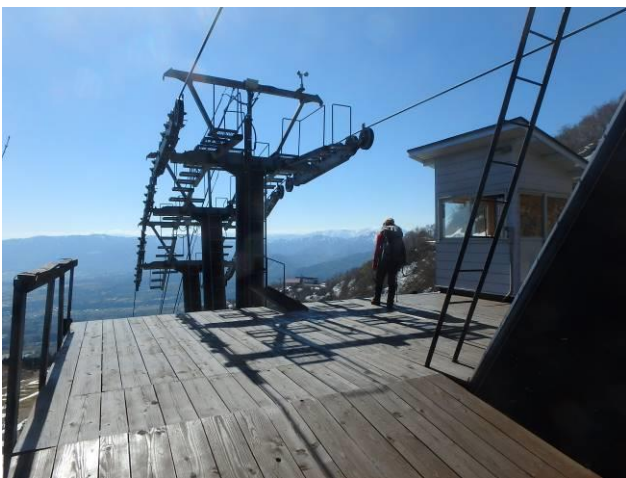
蛇尾山の山頂



奥医王山登路側からの夕霧峠 (NET からの借用写真)

※我々は左上の展望塔側から下りてきた

夕霧峠は林道の三叉路になっており、東面にはスキー場のリフトがあがってきている。もちろんすでに営業は終わっているが。



イオックス・アローザスキー場 (左：リフトトップ、右：見下ろすゲレンデ)

最高峰である奥医王山は最初の 15 分くらいが無茶苦茶急登で息が上がるが、その後は緩く登ったり降りたりで進む。奥医王山の山頂は広く、また周辺に高い樹木があってそれほど眺めがよいわけではないが、白禿山よりも高い展望塔がある。それに登るとよい眺めが得られるが、当然ながら白禿山の山頂からのそれとほぼ同じ景色であった。帰りは夕霧峠から車道を経て西尾平まで戻る。



奥医王山の山頂展望塔



山頂展望塔から望む白山方面

車道には随所に雪が残り、融けた雪の間から良質のフキノトウが顔を出しており、お土産に GET させてもらった。駐車場に戻ると8台くらいにクルマが増えており、好天に誘われて多くの市民が訪れているようである。千葉までは600km以上あり、時間がかかるので風呂は割愛して帰路についた。



林道わきに咲くサクラ



同じくツバキ

記録：柘植